

令和6年度 後期 学校自己評価のお知らせ

保護者の皆様へ

これは、後期に行った「学校自己評価」の結果です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。「教職員の自己評価」と「児童アンケート」そして「保護者アンケート」の結果と考察を掲載しています。これらの評価の結果をふまえて、学校改善に向けた今後の教育活動を進めていきます。

お時間があるときによくお読みいただき、本校の教育活動に対して御理解いただきますとともに、今後も御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

系島市立前原小学校
校長 石硯 昭雄



系島市立前原小学校

【評価方法】

4段階 4:よくできている 3:だいたいできている 2:できていないときの方が多い 1:できていない

【本校の教育目標】 まごころで学び、えがおでふれあい、ねばりづよくがんばるこどもの育成

【本年度の重点目標】 目標をもって挑戦する自他を認め合い、支え合う子どもの育成

本校の教育目標、めざす子ども像に沿って項目を設定し評価しました。

「まごころで学ぶ」…学習面について、自ら学びよく考えて表現し他者と対話する姿

「えがおでふれあう」…思いやりをもち互いに認め合い助け合う姿

「ねばりづよくがんばる」…心と体を鍛え、根気強くやりぬく姿

*「比較」は、前期結果と比較し、0.1ポイント以上の増は「↑」、0.1ポイント以下の減は「↓」、0.1ポイント未満の増減は「―」

	質問項目		児童	比較	教員	比較
まごころで学ぶ子ども	①	「めあて」を自分でつくったり、見通しをもって考えたりすることができましたか。	3.13	—	3.14	↑
	②	先生の力をかりずに、自分たちだけで15分以上話し合うことができましたか。	2.77	↓	2.39	↑
	③	自分の考えを書いて、学習をふり返ることができましたか。	3.19	↓	2.64	↑
	④	ミライシードで、苦手な問題に取り組んだり、新しい問題に挑戦したりできましたか。	2.97	↓	2.75	↑
	⑤	タブレットを使って意見を出し合ったり、タブレットで自分の考えをまとめたりすることができましたか。	2.73	↓	2.25	↑
えがおでふれあう子ども	⑥	友だちのよさを進んで見つけようと思いましたか。	3.15	↓	2.89	↓
	⑦	命の大切さを考えたり、思いやりのある行動をしたりすることができましたか。	3.36	↓	2.97	—
	⑧	学校のきまりを守ることができましたか。(名ふだ・遊び場・時間など)	3.19	↓	2.97	↑
	⑨	自分から進んであいさつをすることができましたか。	3.20	↓	2.89	—
	⑩	学校や学年・学級をよくするための話し合い活動で進んで考えを出せましたか。	2.81	↓	2.44	—
ねばりづよくがんばる子ども	⑪	時間いっぱい、すみずみまでそうじができましたか。	3.44	↓	3.17	↑
	⑫	給食の後片付けをきちんとすることができましたか。	3.53	↓	3.47	↑
	⑬	めあてをもって体を動かすことができましたか。(朝のスッキリ体そう、短なわけんてい など)	3.24	↓	2.94	↑
	⑭	「ゆめかなえノート」で、自分の成長やがんばりをふり返ることができましたか。	3.05	—	2.75	↑

子どもの姿の評価 考察

【全体考察】

- ほぼ全ての項目について、教員の評価の方が児童の評価より低くなっています。しかし、教員の評価の多くが前期評価よりも高くなっています。一方、児童の評価のほとんどが前期評価よりも低くなっています。教員は多くの項目について児童の成長を感じているものの、児童は自身の成長を十分感じることができていないようです。
- 教員は子供たちに指導する際、目標とする状態、姿を具体的に考えるよう促し、教員と児童が目標を共有することが大切であるとともに、児童それぞれの個の頑張りを認め、「できるようになった」「がんばってよかった」と自覚できるようにする教員の働きかけが重要であると考えます。

【まごころで学ぶ子ども】

- 項目①「めあてを自分でつくったり、見通しをもって考えたりすることができた」は教員の評価が前期より 0.36 ポイント上昇し、児童と教員の評価がほぼ一致しています。児童自身が自分の言葉で何をめあてに学習に向かうのかを考え、課題意識をもって学習に臨めているようです。
- 項目②「先生の力を借りずに、自分たちだけで15分以上話し合うことができたか」については、教員の評価が前期より 0.42 ポイント上昇し、全項目の中で最も上昇した項目です。本校が授業づくりで最も力を入れている点で、友達と意見を伝え合うことで考えを広げたり深めたりする授業を行い、児童の表現力と思考力を伸ばす授業づくりに努めています。児童が自分たちで「話し合いたい」と思い、議論するおもしろさを感じることができるよう授業になるよう、まだまだ研究が必要です。
- 項目④ミライシードの活用、項目⑤タブレットを使った授業については、教員の評価が前期より0.25 ポイント上昇しました。ミライシードは、学年や教科、単元等をこえて問題を選び取り組むことができます。つまり、自分の課題（苦手なところの克服、もっと難しい問題への挑戦等）に応じた学習が可能です。家庭学習でも活用を進めているところです。タブレットを使った授業については、授業中の有効な活用方法について引き続き研究していきたいと考えています。

【えがおでふれあう子ども】

- 項目⑧「学校の決まりを守ること」については、教員の評価が前期より0.25 ポイント上昇しています。前小スタンダードで取り組んでいる項目などを含め、前小の決まりを意識し、よりよく生活や学習に臨もうとしている姿が見られるようです。望ましい姿、集団で活動するための必要な姿について、引き続き機会を逃さず指導していく必要があります。
- 項目⑥「友だちのよさを進んで見つけようとした」、項目⑦「命の大切さを考えたり、思いやりのある行動をしたりすることができる」は、児童の評価は下降しているものの3以上の評価となっています。遊びや学級活動等、様々な場面で相手を思いやり接していく態度、学級の支持的風土の醸成を目指していきます。

【ねばりづよくがんばる子ども】

- 全ての項目について、児童は3以上の値で評価しています。
- 項目⑪「時間いっぱいすみずみまで掃除」、⑫「給食の片付け」は児童の評価も教員の評価も高く、3以上です。
- 項目④「『ゆめかなえノート』で、自分の成長やがんばりをふり返ることができたか」については、教員の評価が前期より 0.19 ポイント上昇しました。児童の目標設定の場面において、児童の思いや願いを理解・把握しつつ児童に問いかけながら関わっていくことで、自身の成長を感じることがができます。さらに、いねいで計画的な目標づくりを意識する必要があると考えます。

保護者評価(アンケート)の結果について

- 1 実施期間 令和7年12月9日(月) ~ 令和7年12月20日(金)
- 2 児童数 806 (児童ごとに回答を依頼)
- 3 回答数 373 46 %
- 4 評価 4段階 (4:とてもそう思う 3:まあそう思う 2:あまり思わない 1:思わない)

*「比較」は、前期結果と比較し、0.1ポイント以上の増は「↑」、0.1ポイント以下の減は「↓」、0.1ポイント未満の増減は「―」

項目			結果	比較	評価内訳(人)			
					4	3	2	1
※ 12月3日実施の学習参観についての回答[回答数307人(38.1%)]								
授業	①	子供たちは、よく発表をしたり、自分の考えを書いたりすることができている(意欲的に、学習に参加している)。	3.48	—	158	139	10	0
	②	子供たち一人一人がよくわかる、できるために、授業が工夫されている。	3.44	↓	141	160	7	0
	③	子供たちの教室は、整然としていて、学習に適した環境になっている。	3.40	↓	137	155	9	3
※ 選択肢3つ…ちょうどいい→3.5、ちょうどいい以外→2 で換算					ちょうどいい	難しい	簡単	
宿題	④	お子さんの宿題の内容は、お子さんにちょうどよい。	3.35	—	336	15	22	
	⑤	お子さんの宿題の量は、お子さんにちょうどよい。	3.26	—	313	26	34	
生活	⑥	子供たちは、友達のよいところによく気付いている。	3.05	—	89	259	2	1
	⑦	子供たちは、学校で掃除の取組をしているので、家庭でも身の回りを片付けたり、進んで掃除をしたりすることができている。	2.43	—	31	140	160	42
自己実現力	⑧	子供たちは、学習や生活などいろいろな場面で目標を決めることができている。	2.82	—	48	219	95	11
	⑨	子供たちは、自分が決めた目標に向かって最後まで諦めずに取り組むことができている。	2.91	—	55	239	70	9
学校からの情報	⑩	各学級・学年から通信を発行したり、連絡帳でお伝えしたりしているので、子供たちの学校での学習や生活の様子がよくわかる。	3.07	—	85	233	50	5
	⑪	学校は、学校の方針や取組の予定などを保護者にわかるように発信できている。	3.11	—	77	259	37	0

保護者評価 考察

【参観授業について】

- どの評価項目も 3.0 以上の評価でした。しかし、前期より項目②「子供たち一人一人がよくわかる、できるために、授業が工夫されている」は 0.31 ポイント、項目③「教室は、整然としていて、学習に適した環境になっている」は 0.41 ポイント下降しました。自由記述において、「授業のスピードに皆がついていっているのかが気になりました。」という御意見もありました。全ての子供たちが「楽しい」「学びたい」と思う授業となるよう改善に努めます。また、教室は、子供たちが安心して学習できる場所でなければなりません。教室の整理整頓、掲示物の工夫等見直し、学校全体で整えていきます。
- 一方、自由記述において「声掛けや動画などで分かりやすく教えてくださいました。一人一人に側に行き誰一人分からないまま進むことがないのには驚きました。」「じっくりと意味や意図、捉え方考え方が身につくようにされていることが分かりました。」というものもありました。どの学級でもこのような感想をいただけるよう努めます。

【宿題について】

- 宿題は内容も量もおおよそ「ちょうどいい」との回答でした。しかし、自由記述では「ステップアップの宿題は難しいようで、かなり時間をかけてやっています。」「宿題に関して声掛けをしていますが、音読はやろうともしません。」などがありました。御家庭での見守りありがとうございます。家庭学習も個に応じて主体的に行えるようになると思います。多すぎると思われる場合で生活に支障があるほどの時は担任に御相談ください。

【友達との関わり、生活について】

- 項目⑥「友達のよいところによく気付いている」は、前期と同じ値です。家庭での会話でこのような姿を感じていただいていると思います。学校、家庭が共に子供たちを見守っていきたいと思います。
- 項目⑦「家庭でも身の回りを片付けたり掃除をしたりする」も前期とほぼ同じ値で、低い値でした。引き続き、自分でできる力を家庭でも実践できるよう機会を作っていただきたいと思います。

【自己実現力の育成について】

- 項目⑧「いろいろな場面で目標を決めることができる」、⑨「子供たちは、自分が決めた目標に向かって最後まであきらめずに取り組むことができている」は大きな上昇ではありませんが、微増しています。後期には、運動会や縄跳び検定など明確な目標を設定する場面があったり、次の学年への進級に向けた活動を意識し目標設定したりすることもあったのではないかと思います。子供たちのがんばる姿に励ましの言葉をかけていただきたいと思います。

【学校からの情報発信について】

- これからも、児童の学校での様子や、学校の取組についてわかるよう発信していきたいと思います。自由記述では、前期にも出ていましたが、紙媒体よりも電子でのお知らせがよいとの御意見がありました。メールでの配信を増やしているところです。内容によっては取り扱いの検討が必要なものもありますので、少しずつ進めていきたいです。また、通信を一年を通してカラーで印刷することは費用の面からできませんが、今年は一部の期間カラーで配付しています。